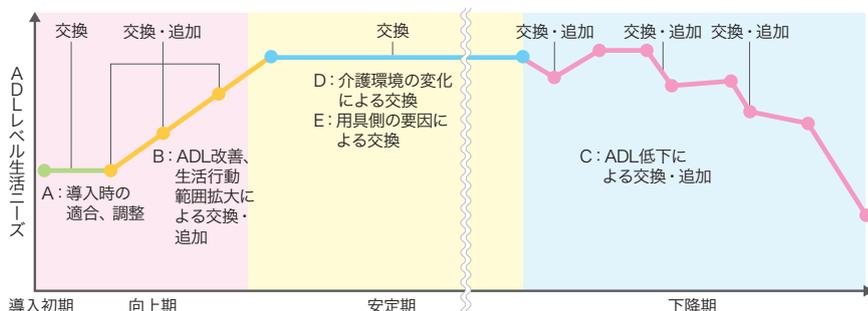


参考 在宅介護における福祉用具の交換利用の状況

利用者の状態に合わせて福祉用具の交換を行うことにより、利用者の自立した生活を維持することができます。在宅では福祉用具貸与サービスを効果的に活用し、利用者の状態の変化に応じて適切な福祉用具を借り換えながら、自立支援を目指しています。

交換・追加利用のモデル



出典：「状態像に応じた福祉用具の交換利用の効果に関する調査」H22年3月に本福祉用具協会

利用者の状態の変化に応じて、その時点での利用者の状態に最適な用具を利用します。福祉用具の返却や追加、交換を行う目的には以下のようなパターンがあります。

- ・導入時の適合・調整
- ・ADL改善、生活行動範囲の拡大による交換・追加
- ・ADL低下による交換・返却
- ・介護環境の変化による交換
- ・用具の要因による交換

交換・追加利用の発生状況

【記録シート】貸出の際の理由（福祉用具別）

福祉用具	追加利用（返却を伴わない）	交換利用（返却を伴う）
車いす（電動車いす以外）01	15 81 89 42 8	31 44 54 35 113 17
電動車いす02	7 1 2	1 1 22 2
車いす付属品03	9 21 71 13 10	6 9 22 27 9
特殊寝台04	5 17 76 15 7	6 30 39 13 31 8
特殊寝台付属05	50 90 194 86 22	34 61 92 27 233 44
床ずれ防止用具06	11 104 5	11 21 129 7 34 15
体位変換器07	2 3 13 3 2	2 3
手すり08	11 93 99 26 4	10 9 7 11 9 6
スロープ09	4 42 22 28 2	3 2 3 2 3
歩行器10	9 67 36 7 3	10 25 16 7 44 13
歩行補助つえ11	4 19 11 5	3 5 15 1
認知症老人徘徊感知機器12	1 1 7 5	
移動用リフト13	22 14 7 2	2 2 1 1 9 1

0 20 40 60 80 100 (%)

■ 導入時の調整 ■ ADL改善・生活ニーズ拡大 ■ ADL悪化
■ 介護環境の変化 ■ 用具の要因（故障・摩耗等） ■ その他

1 か月間の用具の貸出の記録を分析し、福祉用具別、目的別に集計したものです。（新規利用者への貸出は除く）

福祉用具の種類によって、貸出が発生する頻度や追加、交換の目的が異なることがわかります。